

令和５年度 第４回生駒市障がい者地域自立支援協議会 会議録

時間：令和６年２月１３日（火）

午後１時３０分から

場所：生駒市コミュニティセンター

203・204 会議室

１．開会

事務局：（あいさつ）

（会議の公開・傍聴について説明、傍聴者の確認）

（会議の録音の許可のお願い）

（手話通訳者・要約筆記者の入室許可のお願い）

（発言の際の注意事項について説明）

（欠席者および遅刻者について連絡）

（事務局出席者紹介）

（資料の確認）

２．案件

（１）パブリックコメントの実施結果について

事務局：（資料１～４について説明（１２月議会での意見対応も合わせて説明））

説明終了後、質疑応答。

山本委員：計画書の参考資料として掲載される用語解説について、本日の資料には掲載されていません。本日の資料で確認したかったところですが、どのような状況でしょうか。

事務局：用語解説については、第６期計画書と同様にまとめてまいります。かなりのボリュームがありますので、現在整理を進めているところであり、３年が経過し、載せる内容も増えてきています。本日の資料に間に合わせる事ができず申し訳ありません。しばしお待ちいただければと思います。

山本委員：先ほどの資料２で、修正内容の欄に「原案のとおり」という文言がありますが、出した案のままとするという意味でとらえて大丈夫でしょうか。

事務局：その通りでございます。

辻村委員：資料４の１０ページや１２ページに障がい等級の区分について、等級の重い順に記載されているといった説明があった方が分かりやすいのではないでしょう

か。

事務局：それぞれのページの中で分かるように、等級について説明を補足させていただき、詳細については巻末の用語解説で補足させていただきます。

古川委員：先ほどの話に関連することですが、「あゆみ」の中に、等級に関する説明がありますので、参考にいただければと思います。

事務局：ありがとうございます。分かりやすい表記ついて検討していきます。

浅井委員：意見というより期待になりますが、資料 2 で、精神障がい者の方が緊急時の対応で困っておられるということを感じますが、もともと地域生活支援拠点等が始まったときに、この緊急という定義をどうするのか、医療的なことが関わると当てはまらないということで、病院などにも協力していただくという話があったと思います。本当に精神の方の問題が非常に切迫してきており、居宅介護や訪問看護が入りながら、新たな取組として考えていくことはすごい良いことだと思います。聞いたところでは、支援センターの職員も日々の業務に追われていて、自立支援協議会の下部組織のくらし部会などでエネルギーを費やすのがしんどい状況にもあります。現場の問題を吸い上げてきてもらうのが一番だとは思っているので、いろんな事業所がネットワークを構築し、充実させていくのには、なおさら現場の意見をしっかり反映させていかなければならないと思いますし、そのようなバックアップをしていく努力というものがこの会議でも大事なことになると思います。実現化していこうと思うと、本当にその辺の底上げが必要になると感じています。

事務局：医療と福祉の境目ということも、どこまでが医療でどこからが福祉かというところは、なかなか難しいところがあると感じています。関係機関の方でもいろんな意見交換会をさせていただいており、今後もそういったものを充実させ、このネットワークを構築していきたいと考えておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

飛矢委員：精神の病気は、常に、急に症状が変わるという、慢性的にずっと一生つき合っていかなければならない病気なのですが、突然症状が悪化し、例えば本人がいろんな幻聴や妄想にかられ、自分自身を傷つけるなど、命にもかかわる状況になります。また、自分は誰かに狙われてるとか、襲われるなどといったことを感じ、自分を守るために、周りに対して暴力的になることもあります。そうい

った時は、本人も家族も余裕がない状況です。その時に電話1本で、専門の訪問看護などが来てくれて、第三者が介入することによって、本人や家族も安全に経過し穏やかに過ごせるのです。家族会でも、普段の例会に、市の精神保健福祉士の方や支援団体も来ていただき、交流の場を持ちたいと思っています。家族会としてもできることをやっていきたいと思っています。

山本委員：会議次第には、資料4については最終案とあるが、次回の会議はしばらくないことでとらえてよろしいでしょうか。

事務局：今後のスケジュールについては後ほど事務局より説明いたしますが、おっしゃる通りでございます。

事務局：補足させていただきますと、この協議会の位置付けは、決議をいただく場ではなく、ご意見をいただく場となっていますので、ここで意見をいただいて、最終案としてかためたものを議会に報告させていただくということになります。

会 長：それでは、他に意見がなければ、次の議案に移ります。事務局より今後のスケジュールについてご説明をお願いします。

（2）今後のスケジュールについて

事務局： それでは今後のスケジュールを説明させていただきます。本日の会議での内容を踏まえ、3月13日に開催されます市議会の厚生文教委員会に、パブリックコメントの結果や計画案の修正箇所などのご報告をさせていただきます。議会への報告後、市のホームページや公共施設などにてパブリックコメントの結果の公表を行い、その後、計画書本編・概要版の印刷に取りかかり、新年度になりましたら、委員の皆様方や、生活支援センター等に配布させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

（3）今後のスケジュールについて

会 長：本日は、本年度の最後の協議会となります。せっかくの機会ですので、皆様より、報告したいことや、考えておられることなどを皆さんと共有していきたいと考えております。一言ずつ、順番にご発言いただけますでしょうか。

浅井委員：重層的支援やこの協議会も地域の中で大切な役割を持っており、現場からのい

ろいろな課題を吸い上げて、問題を解決していけるような形というところを、理想として持っておきたいと思います。そういった意味では、現場が余裕を持てるよう、相互に配慮できたらと思います。また、災害時の対応について、計画的にどここの福祉避難所にこういったものが足りないのか整理し、何年かに1度、備蓄の補助など検討をしていただきたいと思います。

安田委員：生駒市手をつなぐ育成会は、知的に障がいを持つ子どもたちの親で構成されています。何も福祉の資源がなかった頃から親たちが資源を集めて施設を作ったりしてきましたが、現在は福祉サービスが充実し、ネットにより必要な情報も入り、不便ではなくなってきているので、なかなか親たちが集まって何かをする機会はなくなってきています。また、親たちが高齢になってきています。例えば最近の能登の地震もそうですが、ネットが発達しても補えない部分があると思います。何かあったときに、お互いに支え合えるような関係ができてくれればいいと思っています。

森永委員：先ほどの精神障がいの方の症状については、認知症が進んだ方も同じような症状があります。また、民生委員で担当している方にも耳が聞こえにくい方や目が不自由な方もおられます。そういった時に「自立」とはいうけれど、どこがボーダーで、担当者が関わればよいのか苦慮しながら活動しております。本協議会でのご協力もいただきつつ、できる限りのことやらせていただいている状況ですが、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

世良委員：生駒市肢体不自由者父母の会で一番心配なことは、親亡き後のこととなります。現在、親がしているいろいろなことを、今後は誰が関わってくれるのか不安に思っております。成年後見人の制度もありますが、一度開始すると一生やめられなかったりということがあります。例えば遺産相続の時だけなどワンポイントで使えるなど、もう少し使い勝手が良いように制度を変えていただきたいと思います。福祉関係者や医療従事者、弁護士の方などによる相談体制など、見守っていく制度といったものをつくっていただけたらと思っています。

前田委員：学校現場においては、特別支援学級、通常学級にかかわらず、特別な支援が必要なお子さんがたくさんいます。また不登校の問題も、様々な原因があり、学習障がいなども一つの原因かもしれない、特別な配慮が足りていないのかもしれない。学校としても、一人一人の子供に対して総合的に配慮していくということが必要と感じておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

古川委員：難聴者の中には、手帳を所持しているか、していないかで支援内容が変わります。また、手帳の等級の範囲により、支援が必要な人が助成などの対象から除かれてしまうことがあります。手帳が無いと補聴器は自費となり、最近は補聴器の値段も安くなく、買えない方もいます。以前、補聴器への助成についても話が上がりましたが、その後の進展について、情報が入ってきていません。難聴者がどのようなことに困っているかなどを私が汲み取り、この協議会で発信していきたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

山本委員：以前にも発信したことがありますが、生駒市聴覚障害者協会の会員の中で生駒市内で働いている方もいらっしゃいます。働いている環境で通訳がついていないという問題があります。何度も要望はしていますが、市として立ち入ることが難しいということもあり、解決していません。何か良い方法があれば教えてほしいと思います。また、災害対策についても改めて考えていかなければならないと思っています。2024年7月7日に聴覚障がい者の大会が生駒であります。お時間ありましたら、みなさんご参加ください。

上村委員：社会福祉協議会では福祉センターの方でも福祉教育、福祉の出前講座ということに力を入れており、例えば車椅子体験や点字などの体験学習の場を提供しています。いろいろな課題がありますが、制度のはざまと言われるような問題につきまして、繋がり続ける、決して諦めないという支援を、今後続けていきたいと考えています。権利擁護については、計画書にも権利擁護の推進としてあがっていますが、権利擁護支援センターにも何かありましたら遠慮なく相談に来ていただけたらと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

中谷委員：雇用に関する職種に従事する者としてこの協議会に参加し、インクルーシブな考え方を持たないといけない、そうしないと商工業者も続けていくことができないと感じています。本日ここにおられるみなさんのように、福祉の専門家ではないので、障がいのことについてまだまだ勉強していくことが大事であると考えています。また、不登校などの問題についても切れ目のない組織的な支援が大事だと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

田中委員：生駒市には 3,700 人の身体障害者手帳をお持ちの方がおられますが、ほとんどの方が私たちの身体障害者福祉会に入っておられないので、会の周知に努めたいと思います。

飛矢委員：他の委員のみなさまが話される内容や状況が、私たちの置かれている状況と同

じだなど思わせていただくことが多く、私にとって暖かい会になっています。ひだまり家族会でも、他の団体と同様に親の高齢化が進んでおります。活動の担い手が少なくなっている状況が不安なところでしたが、このような会議の場に参加させていただいたこと、意見を言わせていただいたことは貴重な経験となっております。

相島委員：私たちの事業所は、主に身体障がいのある方の支援をしている事業所になります。ご家族や支援者がいて、地域で生活されている方を今後どのように支えていけばよいか、専門的な職員の確保から入所施設の提供など、さまざまな選択肢の中から選びながら自分らしく地域で生活していけるような体制づくり、サービスの提供を考えていきたいと思っています。地域の事業者の皆様の協力もいただきながら、体制づくりを進めていきたいと考えています。

辻村委員：私たちの法人では、非常に多岐にわたる事業を行っており、そういった意味では、さまざまな方に協力していただいております。また、今回の第7期の計画は、大変丁寧に作成していただいております。まずはそのご苦勞に感謝申し上げます。国の法律や制度の改正が進み、痒いところに手が届くような体制がどんどん進んできてるのは事実です。一方で、高齢者から児童を含め、相談内容も多様化、複雑化しており、専門性が求められていますが、その点については、これまで意識されてこなかったことの裏返しのように思います。また、相談支援事業については社会福祉事業として位置付けられないという国の見解があり、相談支援事業は障害福祉サービスの入口となるものであり、その点について国の制度の見直しがされてほしいと思っています。皆様のご協力と行政のご努力で、実を結ぶことを願っています。

（各委員からの挨拶終了後、計画案について、追加の意見をいただく）

浅井委員：62ページの農福連携の推進について、私は農業ビジョン推進懇話会の方にも出席しています。その場では、農福連携には雇用面のことだけでなく、障がいのある人にとっては、レクリエーションや生きがいといった要素も大きいといった話が出ていましたので、その点も反映させていただき、修正いただければと思います。

事務局：農福連携については、総合計画の農業分野のアクションプランにも挙げられていますので、その点についても考慮いただければと思います。

会長：それでは、他にご意見も無いようですので、本日の議事を終了いたします。

事務局：本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。最後に一つだけ、事務局よりお手元のチラシについて案内させていただきます。
(障がい者差別に関する相談窓口等についてのチラシの説明)

4. 閉会

事務局：今年度は今回が最後の協議会となり、次回は7～8月頃の開催を予定しておりますので、改めて日程を調整させていただければと思います。
今年度は計画策定の年にあたり、4回にわたり開催させていただきましたが、当事者の方やご家族、支援者の方々などから多くの意見をいただき、集約させていただいた内容を、皆様に最終案としてご報告することができました。ご協力ありがとうございました。

事務局：それでは以上をもちまして、令和5年度第4回生駒市障がい者地域自立支援協議会を閉会させていただきます。
本日はお忙しい中、長時間にわたり、どうもありがとうございました。

以上